

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公民・公共	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、多角的な視座から情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができる。
使用教科書 副教材等	高等学校 新公共(第一学習社) 新公共ノート(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の複雑な事象を紐解くために、基礎的・基本的な問題に立ち返りながら問題を多角的に分析し、問題の要点を整理することができる。	事実に基づきながら、修得した概念を活用し、様々な側面、角度から現代の諸事象をとらえることができる。また、形成した意見を他者に効果的に伝えることができる。	修得した知見を未知の問題に適用し、意欲的に解決を試みようとする。
評価点	140点	140点	140点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	・定期考査等 ・ワークノート	・定期考査等 ・ワークノート	・ワークノート ・コメントシート
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 第2章 政治的な主体となる私たち			
		70点	70点	70点
後期	第3章 経済的な主体となる私たち 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・定期考査等 ・ワークノート	・定期考査等 ・ワークノート	・ワークノート ・コメントシート
		70点	70点	70点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち ① 個人の尊厳と自主・自律 ② 伝統文化とのかかわり ③ 自立した主体をめざして	4	
	5	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理 ① 平等、個人の尊重 ② 民主主義と法の支配 ③ 日本国憲法に生きる基本的原理	4 4	
	6	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち ① 法と基本的人権 ③ 自由に生きる権利と法・規範 ④ 平等に生きる権利と法・規範 ⑤ 安全で豊かに生きる権利と法・規範	4	
		前期中間考査	1	
		契約と消費者の権利・責任 ① さまざまな契約と法 ② 消費者の権利と責任	2	
		司法参加の意義 ① 裁判所と司法 ② 国民の司法参加		
	7	第2章 政治的な主体となる私たち 政治参加と公正な世論形成 ① 国会と立法 ② 内閣と行政 ③ 地方自治と住民福祉 ④ 選挙制度の現状と課題	12	
	8	国際社会と国家主権 ① 国家と国際法 ② 国境と領土問題 ③ 国際連合の役割と課題		
	9	日本の安全保障と防衛 国際社会の変化と日本の役割		
		前期期末考査	1	
		前期の学習のまとめ	3	
	後期	10	第3章 経済的な主体となる私たち 雇用と労働問題 ① 私たちと経済 ② 労働者と権利 ③ 労働環境と課題 社会の変化と職業観 ① 現代の企業 ② 中小企業の現状と役割 ③ 日本の農林水産業	16
		11	市場経済の機能と限界 ① 市場経済と市場のしくみ ② 国民所得と私たちの生活 ③ 経済成長と国民の福祉	
12		後期中間考査	1	
		金融のはたらき ① 金融の意義と役割 ② 金融制度の現状と課題	13	
1		財政の役割と社会保障 ① 財政のしくみと租税 ② 日本の財政の課題 ③ 社会保障と国民福祉		
2		経済のグローバル化 ① 国際分業と貿易 ② 外国為替とグローバル経済 ③ 地域的経済統合		
		第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	2	
		後期期末考査	1	
3	後期の学習のまとめ	2		

#### 5 その他

公共は、政治・経済の初歩としての性格が強い科目です。

本科目は現代の社会を考察しますが、社会は1つの要素だけでは成立しておらず、数学、理科、国語、歴史など様々な視点から考察することが要求されます。総合格闘技のような複雑な現代社会を観察するために、“どこから”、“何を”、“見る”のかを絶えず意識することを授業では求めます。